

先週、私たちは「神様がとられる方法」(God's Method) という題で、ともに主の御声に聴きました。神様は実に私たちの常識を超えて、すばらしいわざを行ってくださる方です。御言葉による命令を与えることによって、それに聴き従ったヨシュアとイスラエルの従順を通して、主はエリコの町の城壁を彼らの前で崩されました。同じように、主は今日御言葉に聴き従う者とともに働いて、主イエス・キリストを通して約束しておられる祝福を信じる者のうちに実現して下さるのです。

Last week, we heard God's voice through the message titled "God's Method". God surely does wonderful miracles that are beyond our understanding. Through Joshua and Israel's obedience to God's command, He destroyed the wall of Jericho in front of their eyes. In the same way, even today, He fulfills His promised blessings through Jesus Christ to those who obey and follow His Word.

神様がヨシュアに「あなたの手に渡した」と約束されたとおり、イスラエルの民はエリコの城壁が崩れ落ちるとまっすぐ町に上っていき、エリコの町を攻め取りました。今日のテキストの内容は、その大勝利の後の出来事についてです。イスラエルはエリコに続いてアイの町に攻め上りました。しかし、彼らはアイの人々に打ち負かされてしまったのです。

Just as God promised Joshua that He 'has delivered Jericho into your hands', the Israelites went up to the city of Jericho to attack and conquered it as soon as the wall was destroyed. Today's verses are about the incident after the big victory. After Jericho, the Israel attacked the town of Ai. However, they were defeated by the people of Ai.

なぜ神の民であるイスラエルは、エリコの勝利の後、アイにおいて敗北を喫してしまったのでしょうか？アイの民が、エリコよりも強かったからでしょうか？敗因の一つは、ヨシュアとイスラエルのうちの油断ということができると思います。ヨシュアはアイに攻め上る前に、その地を偵察するために人々を行かせますが、彼らは帰ってきてこうヨシュアに告げるのです。3節、「民を全部行かせないでください。二、三千人ぐらいを上らせて、アイを打たせるといいでしょう。彼らはわずかなのですから、民を全部やって、骨折らせるようなことはしないでください」と。

Why the Israelites, God's people, were defeated by Ai after they celebrated the victory over Jericho? Were people of Ai stronger than the people of Jericho? One of the reasons they lost the battle was that Joshua and Israel were careless. Joshua sent some spies to Ai before they proceeded, and they came back to report to Joshua; "Not all the people will have to go up against Ai. Send two or three thousand men to take it and do not weary all the people, for only a few men are there." (Joshua 7:3)

この報告を聞いて、あなたはどう思いますか？彼らは明らかにアイの住民の力をあなどっています。「彼らはわずかなのですから」という言葉の中には、信仰によってではなく、数の問題という人間的な力により頼もうとするイスラエルの姿がうかがえます。偵察にいった人々の言葉を聞いた後に、なぜヨシュアは神様の御心を求めなかったのか、その理由はわかりません。しかし、民の中からおよそ三千人をアイに攻め上らせた結果、彼らは完全に打ち負かされてしまうのです。民の心はすっかりしなえてしまいました。この敗北の背後には、ヨシュアを含め、イスラエルの他の心に、エリコの勝利による高ぶりから生まれた油断する気持ちがあったと思うのです。

What is your thought on this report? Obviously they were underestimating the power of people of Ai. '...For only a few men are there' indicates that they were not relying on their faith, but they were looking at the number of soldiers, which measures human power. We do not know why Joshua did not seek God's will after hearing this report. However, after they sent about three thousand people to Ai just as suggested, they were totally defeated. The Israelites lost their drive. I believe the reason of this loss was their carelessness stemmed from their arrogance after the victory over Jericho.

けれども、それがイスラエルの敗因のすべてではありません。何よりも一番の原因は、イスラエルの中に罪が入ってきたことがあげられます。1節に「しかしイスラエルの子らは、聖絶のものの中で罪を犯し、ユダ部族のゼラフの子ザブディの子であるカルミの子アカンが、聖絶のものの中から取った。そこで、主の怒りはイスラエル人に向かって燃え上がった」と記されています。つまり、アカンという人が、神様の御言葉に聴き従わずに、聖絶するはずのものを惜しんで自分のために取ったという、罪のために彼らは敵の前に立つことができませんでした。

However, that was not the only reason the Israelites lost the battle. The major reason was because the sin entered in Israel. Verse 1 says “But the Israelites acted unfaithfully in regard to the devoted things; Achan son of Carmi, the son of Zimri, the son of Zerah, of the tribe of Judah, took some of them. So the Lord's anger burned against Israel.” In short, a man named Achan did not obey God's word and took the devoted things, Because of his sin, they could not stand strong before their enemies.

もとを辿れば、イスラエルを奴隷であったエジプトの地から救い出し、彼らに乳と蜜の流れる地カナンを相続させることは、神様の約束によるものでした。ですから、イスラエルが直面するすべての戦いは神様の戦いであり、イスラエルにとってはその神様に信頼して従っていくということが求められていたのです。つまり、信仰の戦いだったので。それが勝利を通して自分たちの力を過信するという高慢と神様の御言葉に対する不従順という罪のゆえに、彼らはアイの前に立つことができなかったのです。

Originally, it was God's promise to deliver the Israelites from slavery and to make them inherit the land of Canaan that flows with milk and honey. Therefore, all wars that Israel faced were God's war, and for Israelites, it was required of them to trust and obey Him. They were in spiritual war. Because of their disobedience and arrogance to believe in their own strength, they could not win against Ai.

11-12節を見てください。神様はヨシュアに告げておられます。「11 イスラエルは罪を犯した。現に、彼らは、わたしが彼らに命じたわたしの契約を破り、聖絶のものの中から取り、盗み、偽って、それを自分たちのものの中に入れてさえた。7:12 だから、イスラエル人は敵の前に立つことができず、敵に背を見せたのだ。彼らが聖絶のものとなったからである。あなたがたのうちから、その聖絶のものを一掃してしまわないなら、わたしはもはやあなたがたとともにはいない」。

Please look at verse 11 and 12. God told Joshua, “Israel has sinned; they have violated my covenant, which I commanded them to keep. They have taken some of the devoted things; they have stolen, they have lied, they have put them with their own possessions. That is why the Israelites cannot stand against their enemies; they turn their backs and run because they have been made liable to destruction. I will not be with you anymore unless you destroy whatever among you is devoted to destruction.”

神様は、「あなたがたのうちから、その聖絶のものを一掃してしまわないなら、わたしはもはやあなたがたとともにはいない」とヨシュアに告げられました。そうすることによって、イスラエルの中から罪を取り除くことをヨシュアに命じられたのです。そこでヨシュアは主が指示される通りに、イスラエルの罪の根源であったアカンを見つけ出したのです。そして、アカンを石で打ち殺し、彼のものを火で焼きつくしました。神様はそうにしてイスラエルが自分たちの中から罪を取り除いた時に、燃える怒りをやめられ（ヨシュア7:26）、再びヨシュアに命じてアイに攻め上らさせたのです。その結果がヨシュア記8章に記されていますが、イスラエルがアイを攻め取ったことは言うまでもありません。

God told Joshua “I will not be with you anymore unless you destroy whatever among you is devoted to destruction.” It was His command for Joshua to remove their sins from Israel. Joshua did as the Lord commanded him, and found out Achan who was the source of sin of the Israel. They stoned Achan and burned everything he had. God turned from his fierce anger (Joshua 7:26) when the Israel removed their sins among them. God again command Joshua to attack Ai. This time, as written in Joshua chapter 8, the Israel won against Ai.

なぜ私たちクリスチャンは祝福された存在なののでしょうか？なぜ主を信じる者は常に勝利者なののでしょうか？それは神様がともにいて下さるからです。神様は聖霊を通して私たち主を信じる者のうちに住んで下さることにより、私たちがどこに行くにしても共に歩んで下さるので、私たちは祝福された存在であり、常にこの全能の主によって勝利が約束されているのです。

**Why are Christians blessed? Why those who believe in the Lord are always victorious? It's because God is with them always. God lives within us who believe in Him through the Holy Spirit, and walk wherever we are with us. That's why we are blessed, and are promised the victory by this Almighty Lord.**

ということは、私たちがもし自覚的に神様の御言葉に聴き従うことを選ばず、わが道を歩もうとするなら、どうなるのでしょうか？そこには主はともにおられないということです。主がともにおられなければ、もちろんそこに主の祝福はなく、むしろ、のろいがともなうのです。神様というお方は、私たちの前に、いのちと死、祝福とのろいを置かれ、私たちにいのちを選ぶこと（申命記30：19）を望んでおられますが、それを受け取るのは私たち自身であり、私たちがいつも信仰によっていのちと祝福を選ぶなら、主はそれを私たちに与えて下さっているのです。

**Then, what would happen if we consciously not to obey God's Word and try to go our own way? Then, the Lord will not be with us. If He was not with us, there would be no blessing from the Lord. Rather, our walk would be accompanied by curse. God sets before us life and death, blessings and curses. And He desires us to choose life (Deuteronomy 30:19). If, by faith, we choose life and blessings, He will give them to us.**

「のろい」という言葉は、誰も聞きたくないと思います。けれども、使徒パウロはガラテヤ書の中でこう語っています。ガラテヤ1章8-9節、「8 しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし私たちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。9 私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、あなたがたの受けた福音に反することを、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです」。

**I am sure no one wants to hear the word 'curse'. However, Apostle Paul said in Galatians 1:8-9 "But even if we or an angel from heaven should preach a gospel other than the one we preached to you, let him be eternally condemned (cursed)! As we have already said, so now I say again: If anybody is preaching to you a gospel other than what you accepted, let him be eternally condemned (cursed)!"**

ここでパウロのいう「のろわれるべきです」とは、直訳では「神の怒りに渡されよ」ということです。神様は愛で愛られますが、その方は何に対して怒りを覚えられるのでしょうか？それは罪に対してです。神様は、御言葉に聴き従わずに聖絶のものをとったアカンの罪に対して怒りを燃やされたように、私たちが高ぶり、神様といのちの御言葉を退けるなら、主はその罪のゆえに怒られるのです。また、さらに私たちがその罪に気づきながら、それをそのままにする時、その罪ある状態が、私たちをして神様がともにおられないという状態を招くことになるのです。

**Paul used the word '.....condemned (cursed)', which is directly translated into 'be handed over to God's anger'. God is love, but what does He feel angry about? It is sin. Just as God was angry against Achan, who did not obey His Word, He will be angry against us, if we were arrogant, and rejected God and His Word. Furthermore, if we had noticed our own sin but chose to leave them alone, our sinful status would get us in a situation where God will not be with us.**

旧約聖書、士師記の中にサムソンという人が登場してきます。彼は神様に選ばれたイスラエルの士師であって、イスラエルを20年間さばきました。彼は非常に力が強く、どんな敵も彼の前に立つことができませんでした。しかし、そんな彼にも弱さがありました。彼は女性に対してとてもルーズだったのです。ある時、デリラという女性を愛し、彼女が彼にとってわなとなりました。サムソンは彼女に自分の力の源を教え、それゆえに敵であるペリシテ人に捕らえられてしまうのです。サムソンは今度もいつもと同じように敵をやつけようとしてますが、主はすでに彼から去られていました（士師16：20）。彼の力は実に主のご臨在によるものであって、彼はそれを軽視し、それが命取りとなってしまうのです。

There is a man named Samson in the book of Judges in Old Testament. He was chosen by God and judged Israel for 20 years. He was very powerful, and no one could stand before him. However, even he had weakness. He liked women. Once he loved a woman named Delilah and she became a trap for him. He told her the secret of his strength, and because of it, his enemy Philistines captured him. (Judges 16:20) His strength was because of God's presence, but he underestimated it and it cost him his life.

この世には罪のない人などいません。神様の前にはみなアカンのように罪ある存在です。その私たちが赦す道を神様は御子イエス・キリストによって備えて下さいました。それがキリストの十字架です。ガラテヤ書3章13節にこう書かれています。「13 キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである。』と書いてあるからです」。

There's no one in this world who is sinless. Every one of us is sinful, just as Achan was, before God. However God prepared the way for forgiveness through His Son Jesus Christ. That's Christ's cross. Galatians 3:13 says "Christ redeemed us from the curse of the law by becoming a curse for us, for it is written; 'Cursed is everyone who is hung on a tree'"

主イエスは祝福の存在でありながら、十字架にかかれることによって、のろわれた者となって下さいました。それは私たちから罪とその結果である死というのろいを取り除くためです。神様ご自身がそこまでして、私たちを愛し、赦し、生かすことを望んでおられるのに、私たちがそれを拒み、神様に背を向ける理由があるのでしょうか。私たちには自分で自分の罪を取り除くことはできません。けれども、心からの悔い改めと信仰をもって十字架のキリストを仰ぎ見るなら、神様はすべての罪を赦して下さいます。それだけではなく、私たちに新しい歩みをさせて下さるのです。

The Lord Jesus was a blessed existence but at the same time, he became a curse for us by being hung on a tree. He did this to remove our sins and death, which is a curse and result of the sin. What reason do we have to refuse and turn away from God, when God Himself loves and forgives us this much? We cannot remove our own sins. However, if we look upon Christ's cross with sincere repentance and faith, He will forgive all of our sins. Not only that, but He also allow us to start a new life.

だれひとりとして罪を軽んじ、その心が神様から離れてしまうことのないように、私たちは自分のため、また互いのために祈ろうではありませんか。たとえ、互いのうちに罪を見出すことがあったとしても、それをさばきの理由とするのではなく、主の赦しを求めて、ともに十字架の前に出させていたただこうではありませんか。主がともにいなければ、そこにはいのちも、祝福もありません。神様ご自身がいのちであり、祝福ですから、私たちはこの方に信頼し、その御言葉に聴き従うことによって、何よりもまず神様ご自身を求めさせていただきましょう。主がともにいて下さること、それこそが私たちをしていのちに満たされ、祝福された存在とするのです。

Let us pray for one another so that no one would underestimate our sins and turn away from God. If we found a sin in one another, we should not judge each other because of it. Rather, let us seek His forgiveness and come before the cross. If God is not with us, we have no life, no blessings. God Himself is life and blessing. Let us pursue God Himself, by believing in Him, and obeying His Word. When God is with us, we will be filled with life and become a blessed existence.